

令和5年度第1回 市民まちづくり集会

「SDGs de 地方創生」カードゲームで
まちづくりの世界を体験しよう

令和5年8月5日（土）



大分県日田市

集会の概要

■とき

令和5年8月5日（土） 午後1時～4時

■ところ

日田市役所7階大会議室

■参加者

中学生以上の方に募集を行い応募のあった方、及び同伴で来られた保護者の方、あわせて17名

◆年代内訳 10代：8名（うち中学生：2名）、50代：1名、60代：3名、70代：1名、不明（保護者の方等）：4名

■目的

市政・まちづくりへの関心が薄い市民でも内容がわかりやすく参加したいと思えるように、カードゲーム「SDGs de 地方創生」を用いてまちづくりを疑似体験することで、地方創生における「対話と協働」の重要性を体感的に学び、実際のまちづくりに関心をもつきっかけづくりとするとともに、まちづくりの主体は自分たち市民であるという自治基本条例の趣旨を浸透させることを目的として開催したものです。

■ファシリテーター

「SDGs de 地方創生」公認ファシリテーター

松浦 隆誠さん

中牟田 多久秀さん



当日の流れ

13:00～ 開会	1 開会挨拶 2 市民まちづくり集会の目的、今回の趣旨を説明
13:10～ カードゲーム 「SDGs de 地方創生」 講師： 「SDGs de 地方創生」 公認ファシリテーター 松浦 隆誠 中牟田 多久秀	1 イントロダクション (1) あなたの住む町に「未来」はあると思いますか？ (2) ファシリテーター紹介 (3) 自己紹介 (4) 日田の実情とカードゲームについて 人口減少、若い世代（特に男性）が福岡県へ転出 まちの課題である人口減少がどのように日田のまちに影響を及ぼすのか、 カードゲームで体験してほしい 2 ゲームのルール説明 3 ゲームプレイ「SDGs de 地方創生」 4 振り返り (1) ワーク①：ゲームの感想を語りあいましょう (2) ゲームの解説・講評 (3) ワーク②：分断を乗り越えるにはどうすればよいでしょうか？ (4) ワーク③：あなたが自分のために、仲間のためにできることは？ 日田にあるプロジェクト「まちのちいさなしごとづくり」の紹介 (5) ワーク④：あなたの住む町に「未来」はあると思いますか？
15:50～ 閉会	1 閉会挨拶

集会のまとめ①

1 ゲームの内容

参加者は地域で活躍するプレイヤーとして、2人1組で保有する資源（人材）と資金を活用し、プレイヤーごとに異なる目標（例：プレイヤーが「NPO」の役であれば、SDGsの「1 貧困」「16 平和と公正」が達成されるプロジェクトを推進する等）の達成を目指しつつ、自分たちの町の状態（人口・経済・暮らし・環境）を良くしていくことを目指してゲームを進めていった。

ゲームの結果は、10組中3組は目標を達成できたが、町の状態は人口減少が進むなど、「人口」と「経済」の指標が衰退した形となった。

2 ゲームの振り返り

各プレイヤーの目標達成・未達成や、町の状態の発展・衰退の分岐点はどこにあるのか。

■達成した 発展した要因	「 <u>対話・協働</u> 」が行われた。 - 他プレイヤーがどんな資源（人材）を保有しているのか、情報共有を行った。 - 必要に応じて、自分の持つ資源（人材）と他人の持つ資源（人材）の交換や譲渡を行った。 - 自分の目標とは関係のないプロジェクトの達成を支援した。
■達成できなかった 衰退した要因	「実行できるプロジェクト」を中心に話が繰り広げられた。 - 自分の目標達成の関連度に関わらず、実行可能なプロジェクトを実施したことで、人資源が枯渇した。 - 時間（年数経過）により人口メータも減少するため、実行できるプロジェクトがなくなっていった。 - 自分の目標には不要なプロジェクトの交換が行われなかった。

また、今回のゲームでは見られなかったが、お互いの情報を共有しない、自分が持つ資源（人材）にこだわり、他人への協力や交換・譲渡の依頼を行わないなど、プレイヤー間の「分断」が発生することにより、町が衰退する事例が多く見られる。

現実世界に置き換えると、分断が起きる（対話がうまくいかない）のは下記のような原因があげられる。

- 「立場」による分断 … 例えば「大型商業施設」と「地元商店街」では目標や意見が異なるため、対話・協働がなくなる等。
- 「世代」による分断 … 例えば「若者」と「高齢者」で理想のまちが異なり、対話・協働がなくなる等。

集会のまとめ②

3 S D G s

S D G sとは「持続可能な開発目標」のこと。2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標であり、17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っている。

どうすれば「まち（日田）」がよくなるかを考えるポイントは、この「S D G s」にある！

■ S D G sのポイント

① 目標の見える化	行政であれば「11まちづくり」、町工場の経営者であれば「9産業と技術」など、17のゴールはそれぞれの立場の目標に見える化したものであるということ。
② あらゆる出来事は連鎖している	例えば「4教育」のゴールを達成することは、「8働きがいと経済成長」、さらには「11まちづくり」へ効果が波及するなど、あらゆる行動・出来事は連鎖していくということ。

■ S D G sとまちづくりの関係

まちを構成する要素は「まち」「ひと」「しごと」であり、「まち」が発展していれば「しごと」がある、「しごと」があれば「ひと」が来る、「ひと」が来れば「まち」が発展するというように、これらの要素はS D G sと同様すべて連鎖している。行政・住民・企業にそれぞれの目標があり、協働して達成していくことが、よりよい「まちづくり」につながっていく。

このことから、よい「まちづくり」には、それぞれの立場の「対話と協働」が重要となる。みんなが行動し、対話と協働が生まれれば、もっとまちがよくなる！

4 伝えたいこと

- まちづくりは「市民参画」「市民協働」「情報共有」、つまり「対話と協働」がポイント！そのエッセンスが「S D G s」には詰まっている。
- “まちづくり”は意外と身近なところに！ゴミ拾い、地域の見守り、観光祭や天領祭りへの参加、また市のアンケートに答えることやこの集会に参加することも立派な“まちづくり”になる。
- 自分の興味があるワークショップ、イベント、地域行事などの“まちづくり活動”にぜひ色々と参加してみしてほしい。

参加者の声

■ ワーク①：ゲームの感想を語りあいましょう

- ・達成するにあたり、最初は2人だけでどうしようもないと思っていたが、周りに関わることで達成できる。自分の目標を達成するには、人とのつながりが大切。
- ・自分たちの目標だけでなく、いろんなところと連携することで目標を達成することができた。
- ・お金の力でなんとかかなると思っていたが、資源（人材）がなく困った。子育てプロジェクトをしていれば、人口が増える成果が出たのではないかと思った。

■ ワーク②：分断を乗り越えるにはどうすればよいでしょうか？

- ・分断されているということに気づかないといけない。気づくということが大切。
- ・1人1人の意見を大切にす。否定しない。各々に課題があると思うが、それを伝えていく。遠慮せず言うことも大事だが、聞くことも大事。

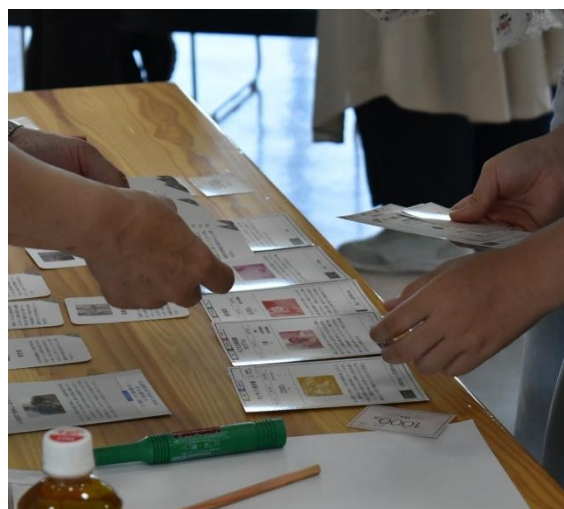
■ ワーク③：あなたが自分のために、仲間のためにできることは？

- ・お互いを尊重して話を聞く。人とのつながりを大切にする。
- ・人によって出来ることと出来ないことはそれぞれ。出来ることは教えたいし、出来ないことは教えてもらいたい。
- ・こういう機会に参加する。

■ ワーク④：あなたの住む町に「未来」はあると思いますか？

- ・「ある」…行政も今日のような活動を通して、市民に伝え、市民もそれに答える。それが他市に伝わり、有名になっていければいいなと思った。
- ・「ある」…時代や立場が違っても、出来ることをやっていけば未来はある。
- ・「ある」…日田は事故や事件が少なく暮らしやすい。それを次の世代へつなげていくことで、よりよい未来につながる。

当日の様子（ゲーム）



当日の様子（ワーク・発表）

